



アンディ・ウォーホル《キャンベル・スープII》1969年 当館蔵

© 2023 The Andy Warhol Foundation for the Visual Arts, Inc. / Licensed by ARS, New York & JASPAR, Tokyo X0142

色とりどりの アート

Words and Pictures:
The Art of Repetition

ことばと絵

2023.7/15 (sat) → 9/24 (sun)

休館日:月曜日(7/17、9/18は除く)、7/18(火)、9/19(火) 開館時間:9時30分-17時(ただし入場は16時30分まで)

観覧料
一般 … 920(720)円
高大生 … 610(410)円
小中生 … 300(200)円

●()内は前売り、リピーター割引、どうなんアートリンク、および10名以上の団体料金。
●親子割引など、お得な料金もあります。



主催:北海道立函館美術館 共催:北海道新聞函館支社 後援:函館市、函館市教育委員会、NHK函館放送局、FMいるか
協力:北海道旅客鉄道株式会社函館支社、五稜郭タワー株式会社、函館美術館ボランティアいちの会

※展覧会およびイベントの予定は、やむを得ず変更となることがあります。その場合は、当館ホームページおよびTwitter、Facebookにて発表いたします。
※当館は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)拡大防止対策をとっています。お客様にもご協力をお願いいたします。

北海道立函館美術館
HAKODATE MUSEUM OF ART, HOKKAIDO
〒040-0001 函館市五稜郭町 37-6 TEL. 0138-56-6311
<https://artmuseum.pref.hokkaido.lg.jp/hbj/>



第1章

墨でつくりだす白と黒のくりかえしの世界

第2章

「くりかえし描きたい」
大好きな車



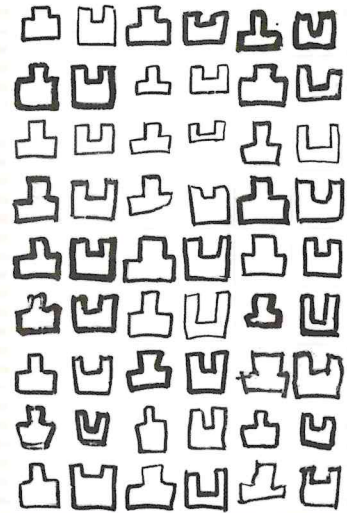
2

アートには、同じモチーフを繰り返し描いたり、版を使って何枚も刷ったり、型を使って立体を複数作ったりするなど、くりかえすことで生まれる作品がたくさんあります。この展覧会では、こうしたくりかえしによる表現のおもしろさに注目。会場を5章に分けて、さまざまな視点から作品の魅力をお楽しみいただけます。

第1章の「イメージのくりかえし」では、モチーフをたくさん並べてインパクトを与える作品を紹介。例えばポップアートの巨匠アンディ・ウォーホルの《キャンベル・スープII》などは、まさにそうした作品といえるでしょう。つづく第2章の「好きな気持ちのくりかえし」では、題材への思いをくりかえし表した作品を展示。自分の好きな車をカラフルな色で描き並べた、自閉症の作家・佐久間智之の《25台の車シリーズ(赤・青・黄・緑)》や、気に入った風景を何度も描くことで、結果としてくりかえしとなった田辺三重松や池谷寅一の作品を紹介します。さらに、第3章の「学びのくりかえし」ではくりかえすことが学びにつながる臨書や石膏デッサン、第4章の「技法のくりかえし」はくりかえす技法によって制作する版画やブロンズ彫刻などを展示。最後の第5章では、函館市在住の画家・輪島進一の作品をお楽しみいただくとともに、「時間とくりかえし」をテーマにした公開制作もご覧いただけます。

出品作品は当館所蔵作品の他、道南や青森地方で活躍する障がいのある作家の作品など約100点。楽しくも奥深い「くりかえしのアート」の世界をぜひ味わってください！

第2章

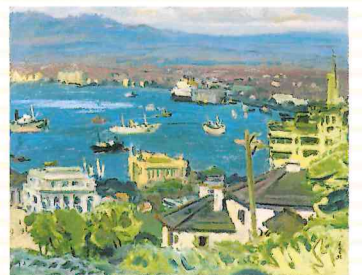


障がいがあってもなくても、
みんなできりかえし

3

第2章

この風景が好きだから何度も描いた

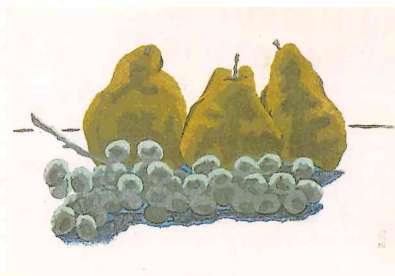


4

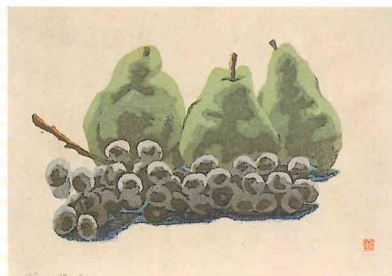
5

くりかえしの アート ことばと絵

Words and Pictures:
The Art of Repetition



6



7

第4章

同じ版!色違いでくりかえし

三千年の年月を越えてくりかえし押す

第4章



8

関連
事業

会期中は学芸員による見どころ解説、関連ワークショップ、ハコビ・アトリエなどを予定しています。詳しくは当館ホームページをご覧ください。

ミュージアム・コレクション 春～夏
4/29(土・祝)～9/24(日)

同時
開催

○「生誕100年 鎌田俳捺子展」(常設展示室)
○「金子鷗亭I期 書との出会い 大塚鶴洞、川谷尚亭、比田井天来」(鷗亭記念室)

観覧料:一般260(210)円、高大生150(110)円
()内は10名以上の団体料金

※中学生以下、65歳以上及び高等学校の教育活動による観覧は無料。
※土曜日は、高校生無料。

- 石飛博光
《黒白黒白白》
2001年 墨・紙 当館蔵
- 佐久間智之
《25台の車シリーズ(赤・青・黄・緑)》
2021年 アクリル・紙 作家蔵
- 俊文書道会
《凸凹》
2020年 墨・紙 俊文書道会蔵

- 田辺三重松
《夏の港町》
1937年 油彩・キャンバス 函館市蔵(当館寄託)
- 田辺三重松
《函館港》
1940年 油彩・キャンバス 函館市蔵(当館寄託)
- 前田政雄
《梨ブドウ(黄)》
1950年頃 木版・紙 当館蔵

- 前田政雄
《梨ブドウ(緑)》
1950年頃 木版・紙 当館蔵
- 《衝鋒將軍》
制作年不詳
鍍金・亀紐古印 当館蔵

●交通案内

市電:「五稜郭公園前」下車徒歩約7分
バス:「五稜郭公園入口」「芸術ホール前」「五稜郭病院前」
「五稜郭」下車徒歩3～10分
タクシー:JR函館駅より約10分/函館空港より約20分
駐車場:函館市芸術ホール駐車場をお使いいただけます。
※当館ご利用の方は駐車料金が2時間まで無料になります。

